

*****2013. 07.05*****

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

短編（科学のよもやま話）第185号

風疹予防接種、助成拡大でワクチン不足の兆し



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。
3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された
皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

発行済みのメルマガは、当店ホームページからご覧頂けます（一部を除く）。



<http://www.kenkodo-igaku.jp/backnumber.html>



*****2013.07.05*****

短編（科学のよもやま話）第185号

風疹予防接種、助成拡大でワクチン不足の兆し

©（2013年6月24日 読売新聞「yomiDr.」より

○記事のタイトル

風疹予防接種、助成拡大でワクチン不足の兆し

○記事の内容

風疹の感染拡大が止まらない。

今年に入って報告された全国の患者数は1万102人（今月9日現在）

と、早くも昨年1年間（2392人）の4倍を超えた。

危機感を募らせた自治体が、予防接種の費用助成に相次いで乗り出したが、その結果、接種を受ける人が急増し、今度はワクチン不足の傾向も表れ始めた。

◆無料化◆

最も懸念されるのは、妊娠初期の女性の感染だ。胎児が感染すると、難聴や心疾患、白内障などの障害が出る先天性風疹症候群（CRS）になる恐れがある。厚生労働省によると、報告事例は昨年10月以降、11人に上っている。

大阪府富田林市と太子町、河南町、千早赤阪村を受け持つ富田林医師会は今月2日、妊娠を望む女性や妊婦の夫以外も対象とする異例の無料集団接種を始めた。「周囲の人々の感染防止が重要」との考えからだ。自己負担額は通常、1万円程度という。

対象は19～49歳で、当初は5日連続、その後は週2～3回ペースで土日のほか、平日午後6時から同市の富田林医師会館で実施。インターネットでの予約制で、来週は26、27日に行う。

20日も降りしきる雨の中、会社員や主婦ら約60人が次々に訪れた。妻が妊娠中という会社員男性（40）は「妻がもし感染したら、と考えるとすごく心配だった。無料なのはありがたい」と笑顔を見せた。

◆5月32万回◆

国立感染症研究所（東京）によると、風疹患者数は今春から急増し、5月は全国で毎週800人以上の患者が報告された。今月9日までの1週間では517人に減ったが、ピークを過ぎたかどうかは「まだ何とも言えない状況」という。

こうした中、妊娠を望む女性や妊婦の夫に予防接種の費用を助成する市区町村が拡大。5月初め、市区町村に補助を出していたのは東京と千葉、神奈川の3都県だったが、その後は大阪府や愛知、兵庫、奈良、和歌山各県などが始め、京都府も関連議案を府議会に提案中。大阪府では全市町村が助成制度を設けた。

これを受け、乳幼児への定期予防接種を除く任意での接種回数が急増している。厚労省によると、例年は年間30万回だが、今年は5月だけで32万回に上った。

◆ 8月末に危機 ◆

予防接種のワクチンには、風疹単独用のものと、はしかとの混合の「MRワクチン」がある。単独用は生産量が少なく、予防接種では主にMRワクチンが用いられているが、月35万回を超えるペースが続くと、8月末には不足する見込みだ。

兆候はすでに出ており、大阪市天王寺区の「おおつかレディースクリニック」の大塚志郎院長は「以前は販売業者に注文すれば翌日届いたが、今はいつ届くかわからない状態」と話す。

卸売販売会社「スズケン」（名古屋市）は「すべての注文に応え

られない状態で、出荷調整している」。子会社が風疹ワクチンを製造する製薬会社「第一三共」（東京）は「需要がここまで膨らむのは想定外だった」とし、今年の製造計画量を２年前の２倍に増やした。

風疹の流行は通常、夏場がピーク。厚労省によると、ワクチン製造には約１年半かかるため、ただちに大幅な増産は見込めないという。同省は、妊娠を希望する女性や同居家族が優先的に接種できるよう自治体などに呼びかけている。

◎来週号からの新シリーズについて

来週号からの新シリーズは、「風疹について」と題してお伝えいたします。

２７０号 ３回シリーズの１回目（７月１２日発行）

１．風疹とは

短編（科学のよもやま話）第１８５号（７月１９日発行）

風疹患者の７割以上は成人男性

２７１号 ３回シリーズの２回目（７月２６日発行）

２．先天性風疹症候群

短編（科学のよもやま話）第１８６号（８月２日発行）

風疹の予防接種率の低い世代

２７２号 ３回シリーズの３回目（８月９日発行）

３．風疹ワクチン

発行済みのメルマガは、当店ホームページからご覧頂けます（一部を除く）。

↓ ↓ ↓ ↓

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/m-magazine.html>

E-mail: mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp

—[プロフィール]—
-----[プロフィール]-----

■長澤 昭（ながさわ あきら）1952年 静岡県生まれ

1980年に薬局を創業。

2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。

2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完成させる。

現在は、当店HPにて公開中 <http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/m-magazine.html>

登録／解除の方法

↓ ↓ ↓

<http://kenkodo.web.infoseek.co.jp/melmaga.html>

（E-Magazine からご購入の方はこのメルマガの一番下に解除フォーム有り）

注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なっています。現在治療中の方はかかりつけの主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果について、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: <mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp>

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合は一報ください。

=====